

2015年4月21日
第一生命保険株式会社

当社初の米国火力発電事業に対する プロジェクトファイナンスへの参加について

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:渡邊光一郎、以下「当社」)は、付加収益の追求及び分散投資推進の観点から2013年度より環境・インフラ案件を含めた新たな資金需要に対応する投融資を強化していますが、今般、新たな取組みとして、米国テキサス州における出力400メガワット超のガス焚きコジェネレーション施設(※)の発電事業に対し、約36億円の融資を実行しました。

米国の発電事業を対象とする、プロジェクトファイナンス案件への融資は、当社として初めての取組みとなります。

日本国内において今後、電力自由化を背景に発電分野におけるプロジェクトファイナンスを実施する機会の増加が予想されますが、今回の取組みは、将来への布石になるものと考えています。

本件は、大手日系商社等が間接共同出資するSPC(Special Purpose Company)に対して実施しているものです。当社は、プロジェクトファイナンスによる貸出債権の一部を取得することを通じ、本事業への融資を行います。

当社は、国内外のプロジェクトファイナンスをはじめ、新たな資金需要に対して、今後も継続的・積極的に取り組んでいきます。

(※)コジェネレーション:天然ガス等を燃料として、タービンやエンジン等を用いて、発電と同時に、その廃熱を有効利用するシステム。一般的に、回収した廃熱は、蒸気や温水として、工場の熱源、冷暖房・給湯等に利用され、高い総合エネルギー効率(70%程度)を実現します。